

大東市による評価

特定公民連携事業名
諸福児童センター跡地活用事業

特定公民連携 推進法人	株式会社 From Earth Kids
事業期間	令和3年3月1日～令和8年2月28日
管理体制	代表取締役1名、取締役1名、職員1名

1. 特定公民連携事業の5つの条件について

	項目	所見
1	複数の地域経営課題を解決しているか	ビジョントレーニングを中心とした、子どもの可能性を広げる各種取組みに加え、企業主導型保育園や訪問看護の拠点等を備えており、親世代の負担の軽減に大きく寄与している。このことから、子どもたちだけでなく、保護者の方の活躍の一助となっており、定期的なイベント開催は、地域コミュニティの活性化に繋がっている。
2	地域一体の価値を向上させているか	近隣の公共施設や教育機関、民間事業者と連携し、イベント等の実施に取り組んでおり、利用率等からも子どもの居場所づくりとしての成果がみられるため、諸福エリアの価値を向上させている。
3	地域経済の発展および地域経済の循環に寄与しているか	かつて旧諸福児童センターに通っていた子どもが、From Earth Kids の活用により、馴染みある施設で現在ダンススクール(にこにこダンススタジオ)を運営している。このような教室運営やイベント運営に地域の人々が関わることで、地域の雇用創出・持続可能な事業運営へと繋がり、次世代の子どもたちが享受できるサービスが充実していくため、地域経済の発展や循環に寄与していると考えられる。
4	公的負担の軽減につながっているか	本施設については、株式会社 From Earth Kids と大東市がリスク分担に基づいて、維持管理を行うこ

		とで、公的負担の軽減を実現している。
5	金融機関等から資金調達を行うなど自立的かつ持続的な事業となっているか	事業実施については、民間事業者が主体的に行うことで、自立적、持続的な運営を実現している。また、新たな施設改修については、金融機関からの資金調達を行いつつ、自主的に実施している。

2. その他（自由記述）

館内の実施事業は多岐にわたっているが、それらが「子どものための複合型施設」というコンセプトを持った軸で繋がることにより、事業間連携が図られている。また、各事業で養われた子どもたちの感性や能力、チャレンジ精神を発揮したり、深化したりといったイベントが定期的に自主開催されている点も評価でき、総合して、大東市内における子どもたちの新たな居場所づくりを実現している。

さらなる施設活性化に向けて、市は株式会社 From Earth Kids の連携に対する課題を認識した上で、次年度は事業の周知等で連携を深め、より効果的な事業となるよう取り組んでいきたい。

引き続き、各事業で集客を増やしていきながら、事業の質的な充足を図っていただくとともに、契約更新を見据え、事業の拡張等についてもともに検討を進めたい。